

第4回 『豊田市矢作川河川環境活性化プラン検討委員会』

4資料-2の2

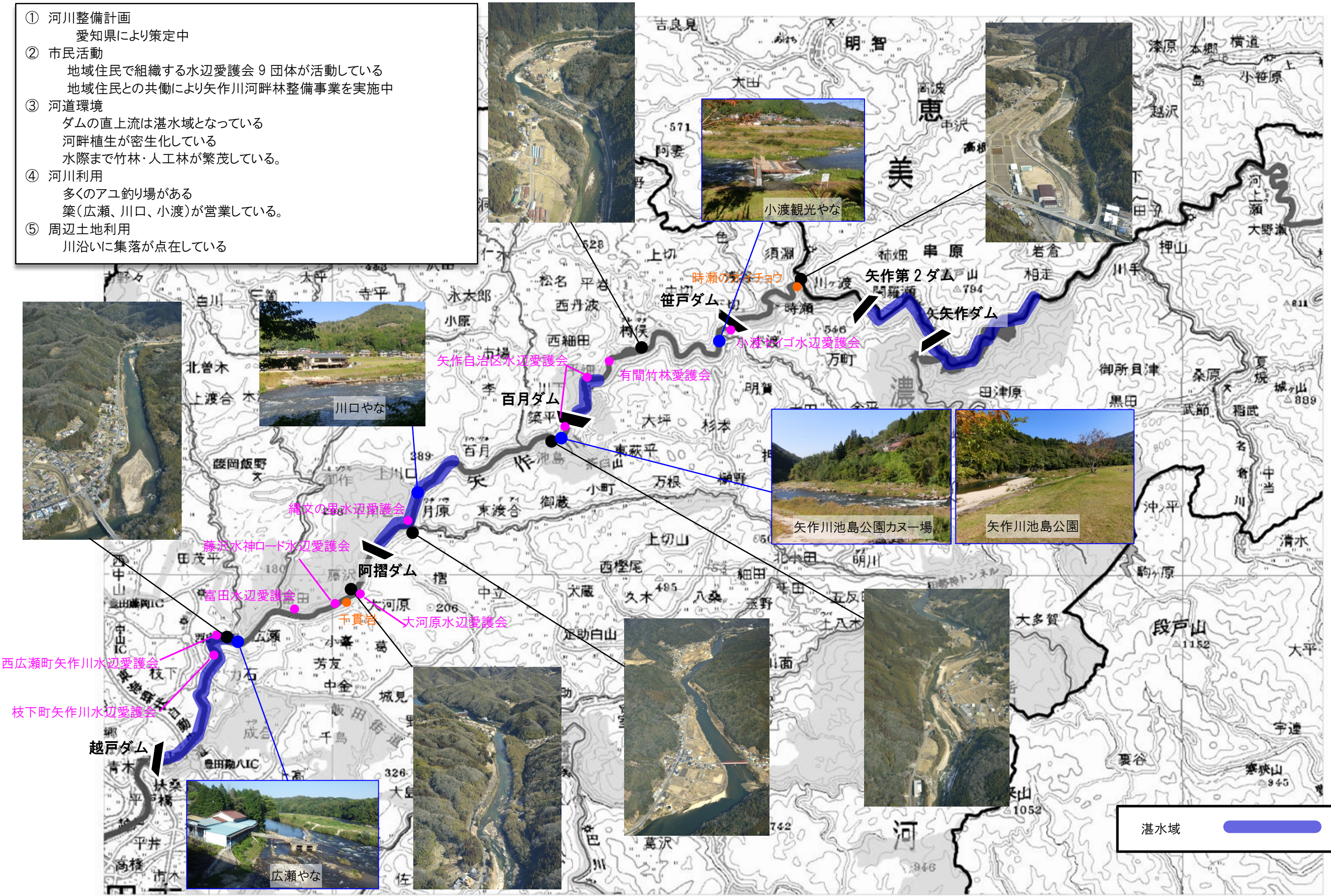
めざす矢作川の姿
～ 検討区間（区間⑤） ～

平成27年10月21日

豊 田 市

1. 現況

- ① 河川整備計画
愛知県により策定中
- ② 市民活動
地域住民で組織する水辺愛護会9団体が活動している
地域住民との共働により矢作川河畔林整備事業を実施中
- ③ 河道環境
ダムの上流は湛水域となっている
河畔植生が密生化している
水際まで竹林・人工林が繁茂している。
- ④ 河川利用
多くのアユ釣り場がある
築(広瀬、川口、小渡)が営業している。
- ⑤ 周辺土地利用
川沿いに集落が点在している



湛水域

2. 特徴および整備方針

【特徴】

- ダムが連続し、湛水域と自然流水域が交互に出現する
- 自然流水域では自然環境が保全されている
- 河畔林の密生化により、川が見えない所が多い



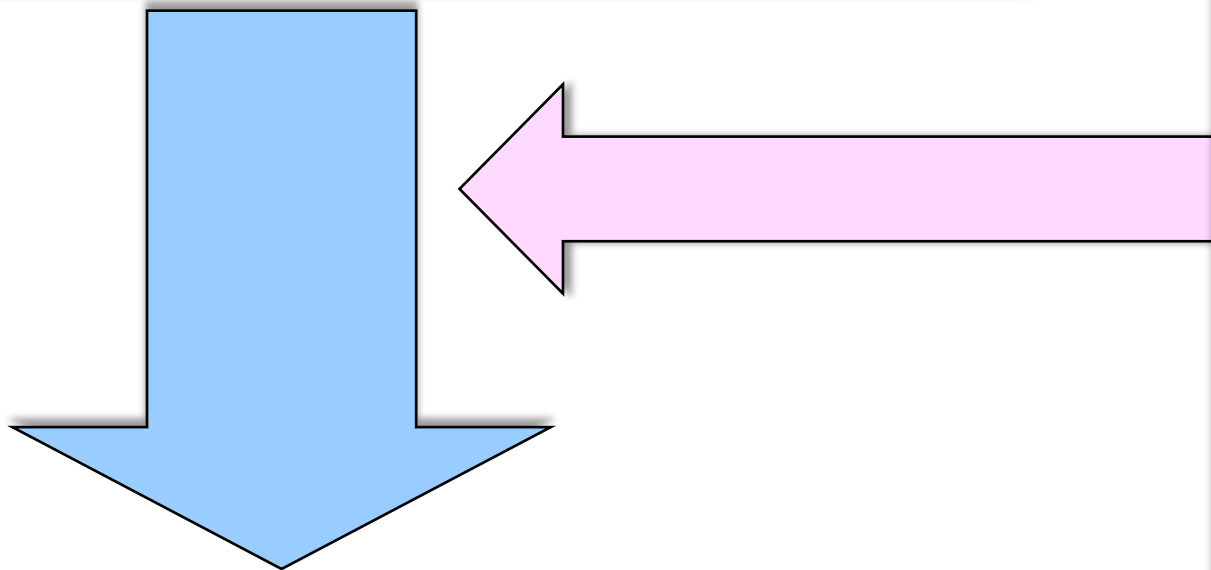
湛水域



自然流水域

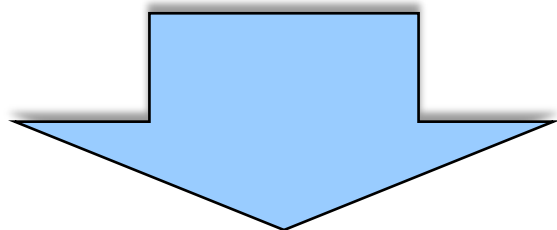


河畔林の密生化



整備方針

- 密生した河畔林を整備し、良好な河川景観を創出します。
- 地域住民との共働により、良好な河畔を再生・維持します



めざす矢作川の姿

地域住民との共働による河畔整備の推進

【矢作川上流圏域河川整備計画 第1回アンケート結果】

<アンケート結果のまとめ>

- 河川環境の悪化は、あまり感じていない
- 竹林の繁茂など、河畔竹林の密生化は課題と感じている
- 河畔の愛護活動への関心が高い

<主なアンケート結果の結果>

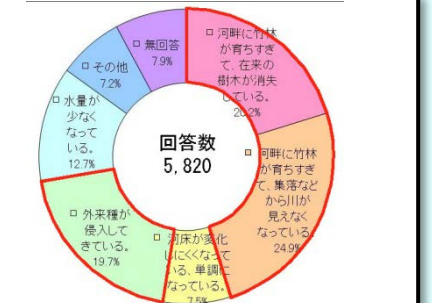
Q)昔と比べ特に失われていると感じるものはありますか？

A)「特に失われているものはない」という回答が4割以上を占めている。



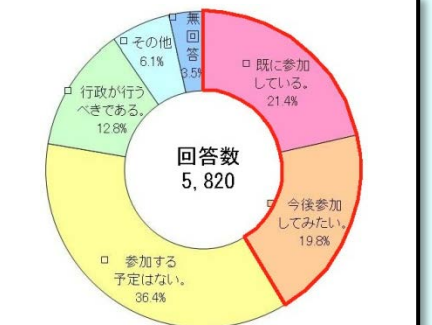
Q)近年、矢作川の環境面ではいくつかの課題があります。特に重要だと感じるものはどれですか？

A)「河畔林への竹林繁茂」や「外来種の侵入」の課題に関する回答が多い。



Q)矢作川では河畔林の整備や清掃など住民による愛護活動が盛んに行われていますが、参加してみたいと思いませんか？

A) 2割の方が「既に参加しており」、「今後参加を考えている」との回答も2割程度あった。



河畔林整備の進め方

| | 計画 | 再生 | 保全 |
|---------|------|-------------------|----|
| 作業と役割分担 | 地域住民 | ワークショップによる計画づくり | |
| | 行政 | 基盤となる作業道の整備 | |
| | 地域住民 | 作業道を使つての竹林の間伐作業など | |
| | 地域住民 | 下草刈り等の維持管理作業 | |

人手不足への支援

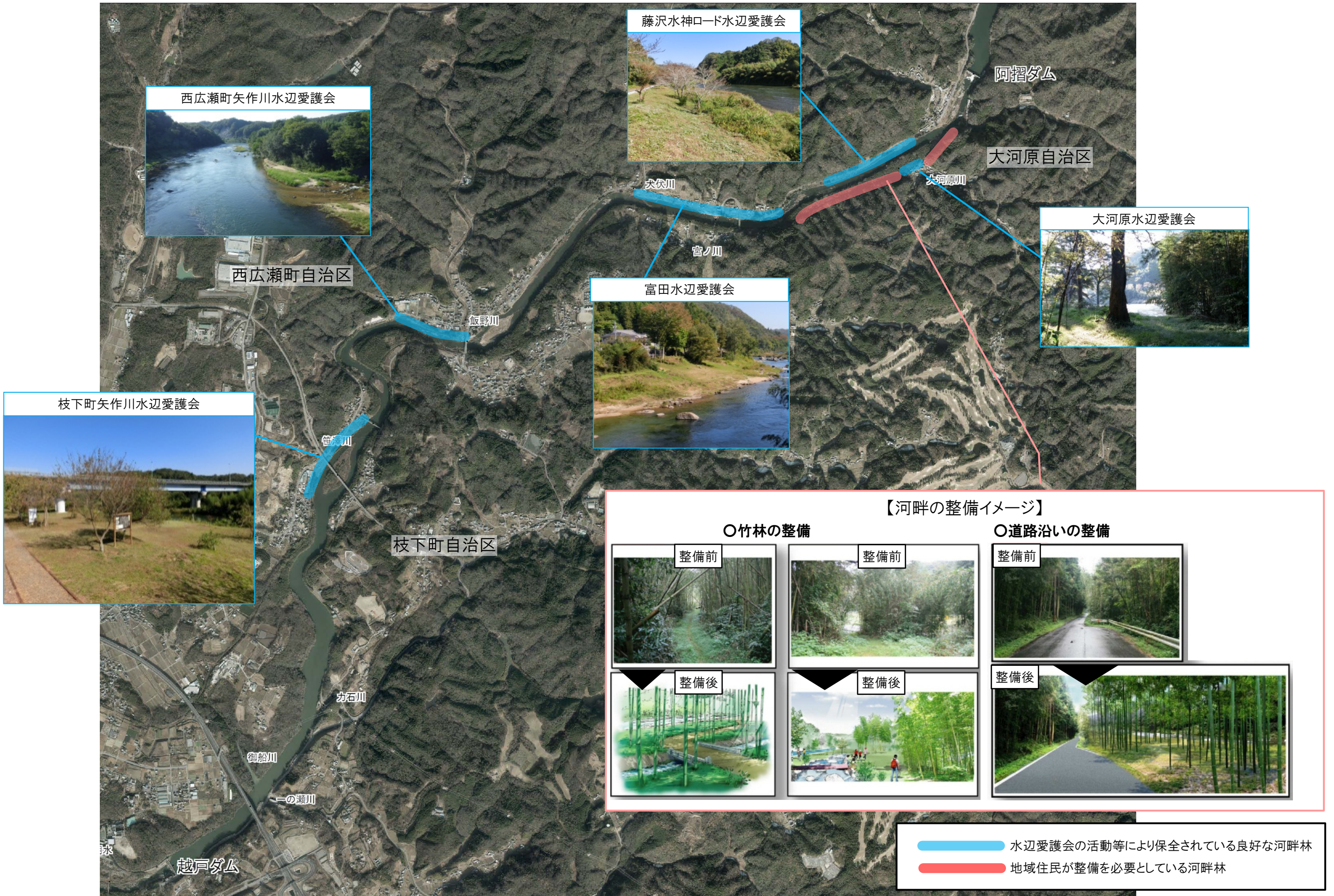
【行政がコーディネート】

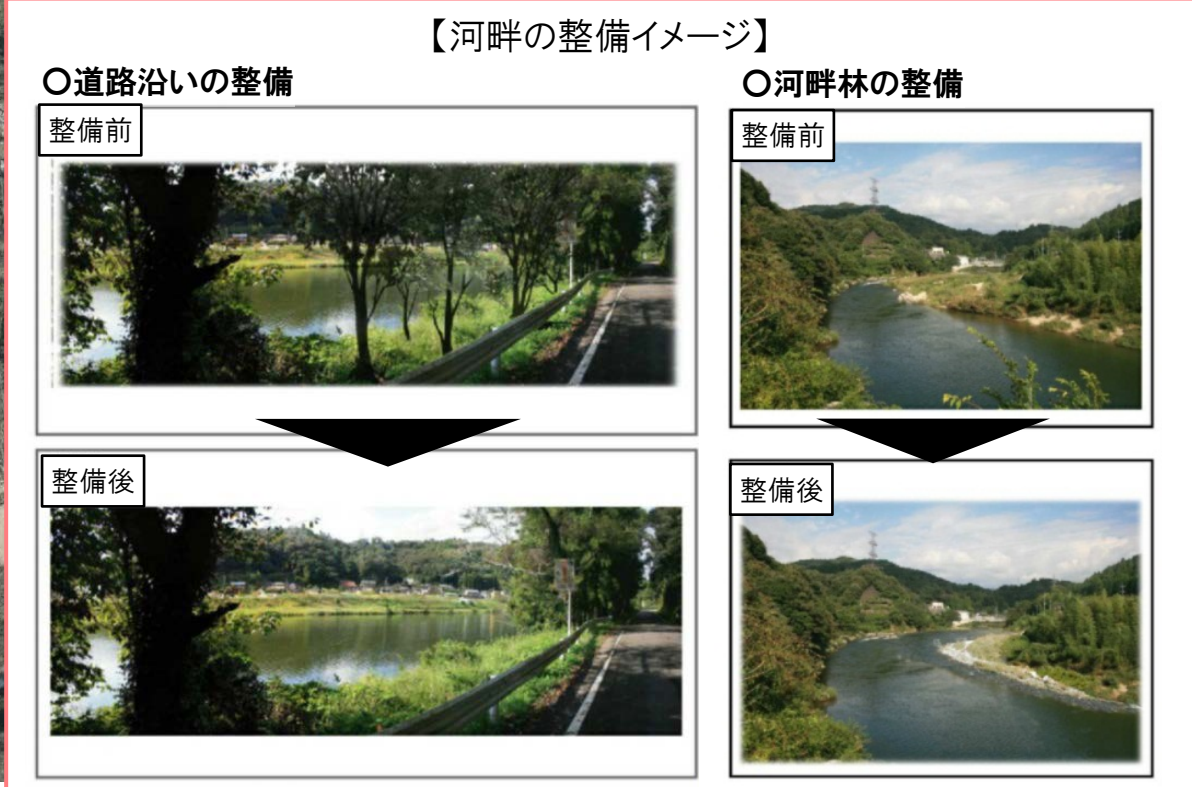
- 都市からの作業支援(交流)
- 高校・大学との連携(体験学習)
- 水辺愛護団体間の連携(情報交流)



【期待できる効果】

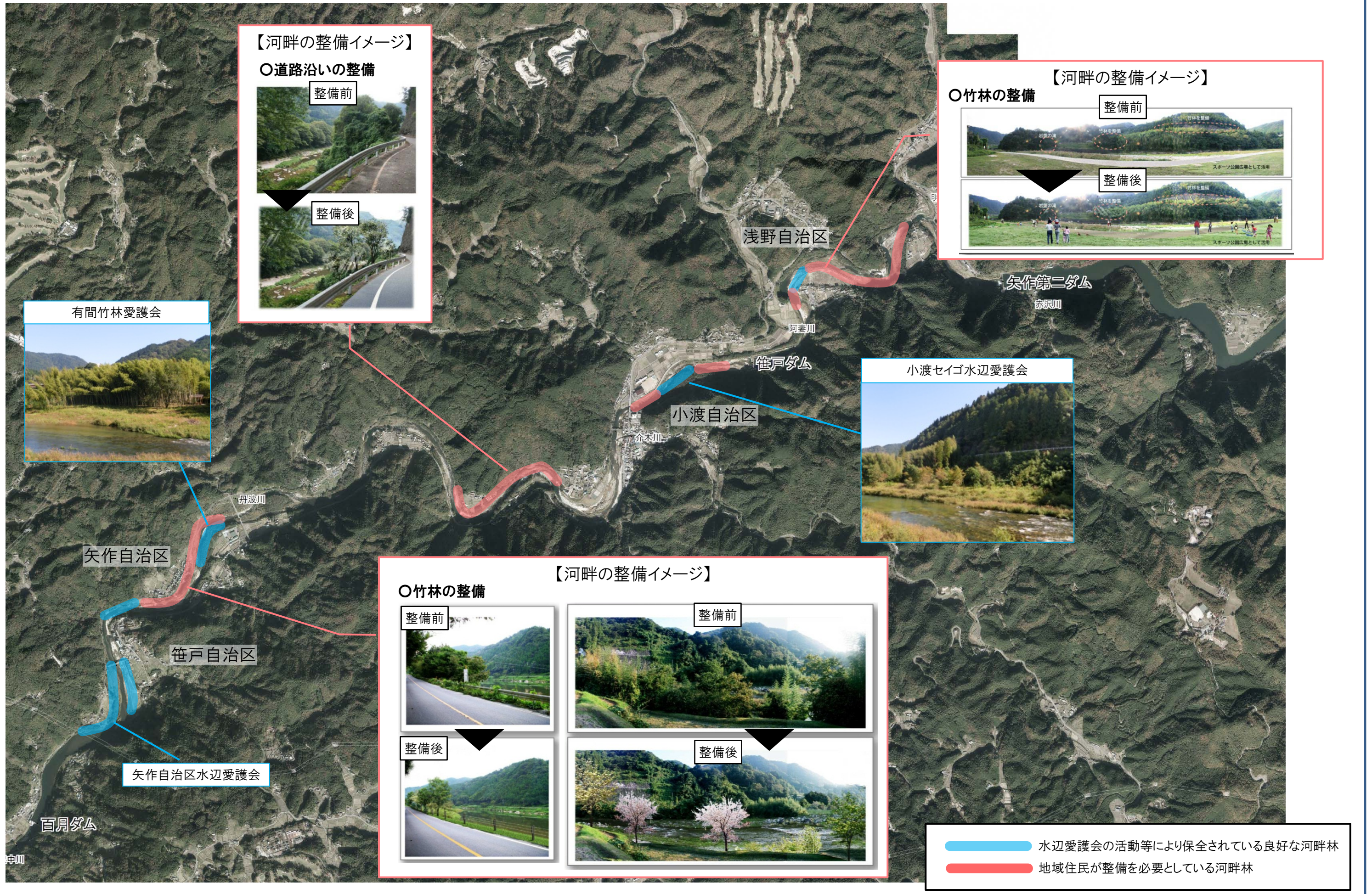
- 美しい河畔景観
- 生物にやさしい多様な環境
- 地域の憩いの場

2. めざす矢作川の姿





 水辺愛護会の活動等により保全されている良好な河畔林
 地域住民が整備を必要としている河畔林



【河畔の整備イメージ】
○道路沿いの整備

整備前

整備後

【河畔の整備イメージ】
○竹林の整備

整備前

整備後

スポーツ公園広場として活用

有間竹林愛護会

小渡セイゴ水辺愛護会

【河畔の整備イメージ】
○竹林の整備

整備前

整備後

整備前

整備後

水辺愛護会の活動等により保全されている良好な河畔林
 地域住民が整備を必要としている河畔林

